

(和田誠氏) ICTの導入と運用のポイント ～心構え、ITリテラシー、校内ICT研修等～

ICT端末導入時に気をつけること

講師：愛光中学・高等学校
和田 誠

想定課題と到達目標

想定課題

ICT端末の導入を検討しているが、
導入時のポイントや注意点がわからない

ICTにおけるセキュリティリスク
についてポイントがわからない

ICT活用を校内で浸透させるための
研修や方法がわからない

到達目標

ICT端末導入時のポイント等が
整理され、理解できる

ICT活用を安全に進める上での
基本的なセキュリティ知識が身につく

ICT教育を進める上で、
研修方法や活用ツールを理解できる

- 1 端末の準備について
- 2 端末以外に準備するもの
- 3 管理について
- 4 ワンポイントアドバイス

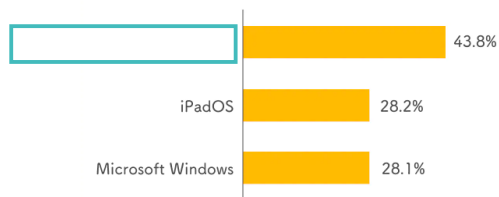
トピック 1 端末の準備

端末は何がいいですか？

GIGAスクール調達・導入端末の
OSシェア（1478自治体）

※予定含む

端末	台数
<input type="text"/>	327万8110台
iPadOS	210万7935台
Microsoft Windows	210万1357台
合計	748万7402台



※調査対象1741自治体のうち、端末の導入状況について回答を得た1478自治体を対象

本校は、中学（iPad）、高校（Chromebook）を採用

ツールは目的ではなく である。

伸ばしたい能力・資質は何ですか？

カリキュラムマネジメントに
選ぶ端末が沿っていますか？

端末以外に必要な準備

Wi-Fi

3つのポイント

1. 完璧なシステムやツールはありません
2. できれば良いもの（お金をかけたもの）を用意
3. 常に情報のアップデート

昨日は大丈夫だったのに今日はダメ

→ **学ぶマインドが大切！**

引用「東洋経済ONLINE」 <https://toyokeizai.net/articles/-/423143>

トピック3 管理について

Q

学校のICT業務は全て教員の仕事？

本校は、2名の常勤のICT支援員が在中している。

A

ICT教育は が大切

支援員の仕事と教師の仕事を考えていくことが大切

例) 教員チーム・支援員チーム ※校務分掌も協働で

引用「東洋経済ONLINE」 <https://toyokeizai.net/articles/-/423143>

問い

ICT教育が進むのは どのような学校（組織）でしょうか？

ワンポイントアドバイス

組織の を高めましょう

※ とは
組織行動学を研究するエドモンドソンが1999年に提唱した心理学用語であり、
「チームのほかのメンバーが自分の発言を拒絶したり、罰したりしないと確信できる状態」と定義している。

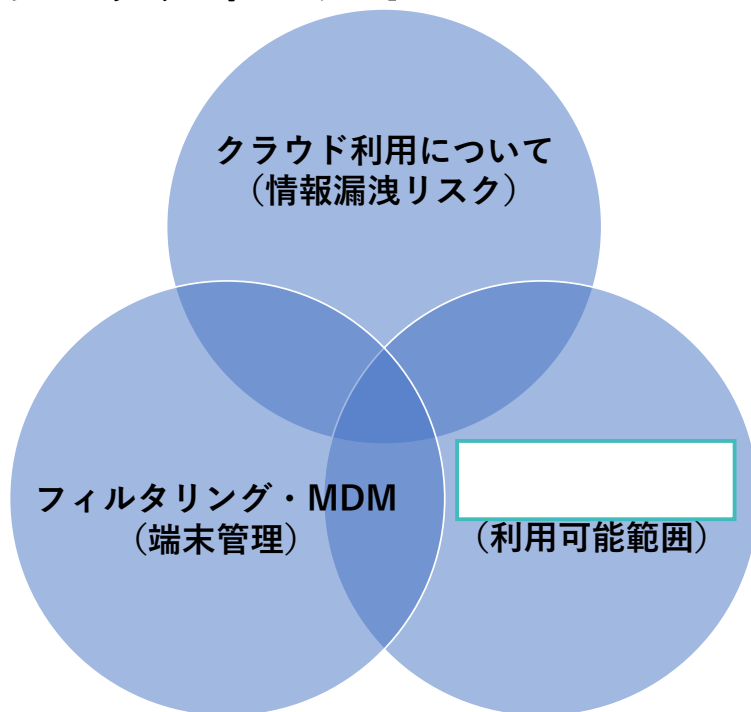
セキュリティについて考えてみましょう

講師：愛光中学・高等学校
和田 誠

アウトライン

- 1 セキュリティについて
- 2 クラウドについて
- 3 MDM・フィルタリングについて
- 4 著作権などについて
- 5 ワンポイントアドバイス

セキュリティとは？



問題をきちんと切り分けて
考えていますか？

校内での対話が大切です

正しく理解して、適切に対話と
対応していく必要がある

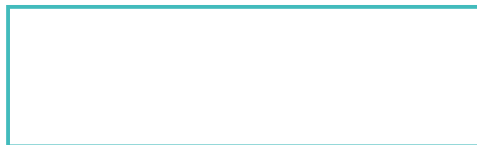
トピック2 クラウドについて

文部科学省

「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン
(令和4年3月)」

https://www.mext.go.jp/content/20220304-mxt_shuukyo01-100003157_1.pdf

「本書は、地方公共団体の各教育委員会が教育情報セキュリティポリシーの策定や見直しを行う際の参考として、教育情報セキュリティポリシーの基本理念と検討する際の考え方について解説したものである。」(ガイドラインより引用)



> オンプレミス
(社内サーバー)

情報漏洩や情報拡散リスク

【対処方法】

教職員・生徒ともに
 やリテラシー向上を図る

このような問い合わせの回答になる

- 有害サイトからブロック？
- アプリは自由にダウンロードできないように？
- 決められた時間以外は使用制限？
- 動画閲覧は不可？メール・チャットは自由に使えないように？ など

なフィルタリングやMDMは存在しない！！

教師と教師、教師と生徒、生徒と生徒
丁寧な対話でルールと運用を考えましょう

※柔軟に変更することがポイント

トピック4 著作権など

改正著作権法（2018年）

→ICTを活用した教育での著作物利用の円滑化を図る

⇒「授業目的公衆送信補償金制度」
(SARTRAS)

<https://sartras.or.jp/>



「授業目的公衆送信補償金制度は、2018年5月の法改正で創設された制度です。（中略）2018年の法改正で、ICTを活用した教育での著作物利用の円滑化を図るため、これまで認められていた遠隔合同授業以外での公衆送信についても補償金を支払うことで無許諾で行うことが可能となりました。（「SARTRAS」HPより引用）

アナログもデジタルもどちらも保護が大切です。

問い

リテラシーやモラルを 向上させるための心構えは？

ワンポイントアドバイス

素早く 、大きく成長する

教員の皆さんは、子どもの端末の使用を促し、
失敗を通して成長を支援しましょう

校内でのICT研修

講師：愛光中学・高等学校
和田 誠

アウトライン

- 1 研修の目的
- 2 生徒向けの研修
- 3 教員向け研修
- 4 ワンポイントアドバイス

研修の目的は何ですか？

例) 対象者ごとに

初心者の方？

ある程度使用できる方？

教員の方？

「全員参加、100%理解」 を目指さない！

小さなチームでやさしいことから、
少しずつ改善（イノベーション）

トピック 2 生徒向けの研修



外部教材



モラル・リテラシー研修

https://beinternetawesome.withgoogle.com/ja_jp/

● YouTube（文部科学省チャンネル）

友達とのICTトラブルなど、困った事例を子どもからの目線で多く掲載。これ以外にも多くの動画がある。

- ・ SNSの書き込みの影響

<https://youtu.be/OdxeRvWJkq8>



- ・ 著作物を公開するためには

<https://youtu.be/Al1w8w68vOc>



● 経済産業省「STEAMライブラリー（未来の教室）」

動画とワークシートを使って、著作権をさまざまな角度から学習できる。総合探究や道徳の時間などでも活用できる。

- ・ デジタル時代の著作権を考える

<https://www.steam-library.go.jp/content/4>



- ・ GIGAスクール時代のテクノロジーとメディア

<https://www.steam-library.go.jp/content/132>



トピック 2 生徒向けの研修

● YouTube（Shimpei Toyofukuチャンネル）

アメリカで研究が進んでいる「デジタルシティズンシップ教育」についての教材が豊富にある。小学校～大学まで活用が可能。

- ・ YouTubeプレイリスト：デジタルシティズンシップ教材

<https://youtube.com/playlist?list=PLNoOLCJNPgDdox0vBJ-V4FMyDLWUob829>



を積極的に
導入しましょう！

ネットをたくさん使って、
たくさんさせましょう

ICTを何に使いたいですか？

授業？ クラス？ 部活動？ 校務？ 保護者関連？



用アイデアを見つけましょう

探したい選択肢をクリックし、「活用アイデアを確認」と検索結果が表示されます。選択肢は複数選択する、選択肢を絞り込まずに検索することも可能です。

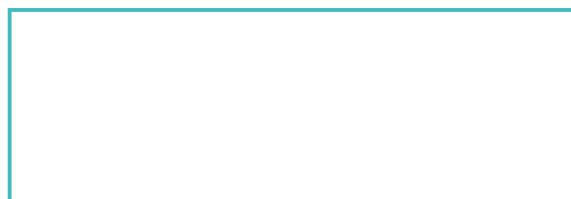
① 操作説明を見る



https://lessonlibrary.withgoogle.com/intl/ALL_jp/

活用ライブラリ

ICTの世界では
非常に重要



(徹底的にパクってシェア)

他の人の事例をマネて校内で共有
(気楽にやりましょう！)

問い

ICT教育を広げていくための コツは何でしょうか？

ワンポイントアドバイス

教師も生徒もICTを楽しむ (失敗も含めて)

教員の楽しむ気持ちは、
生徒や保護者の皆さんに伝染する